

A study of S4 *de*-sentences in Zhu (1978)

AOKI Moe

Keywords: *de*-sentence, object, omitted

Abstract

This paper reaches the following conclusions: (1) *de*-sentences (such as, 'shi wo kai de men.' ['The situation is that I opened the door.']) can be used when the speaker knows the situation of the event, even if the hearer does not know it. (2) The reason that the object follows the *de* is that the speaker wants to express the object clearly. (3) When a *de*-sentence is used as a declarative sentence, it must contain an adverbial word or phrase or a nominal word or phrase (such as, *zaiwaimian* (在外面), *gennibabayiqi* (跟你爸爸一起), *geini* (给你), *weiwo* (为我), *weilebaoweiwomenguo* (为了保卫我们国家), *yinweita* (因为她), *youxiteledexibenwodefendou* (由希特勒的一本《我的奋斗》), *nazhejiacanting* (拿这家餐厅), *nazhezhegeguoguoerlongzi* (拿着这个蝈蝈儿笼子), *yishixishengdeshenfen* (以实习生的身份), *tongguohouzi* (通过猴子), *kaozhezongfangshi* (靠这种方式), *zhaozhebaixiao* (照着白小), *anxiaoshi* (按小时), *cong tangshan* (从唐山), *baozhedashaoyedepaiwei* (抱着大少爷的牌位), *daita* (带他), *wenrenjiadaoyan* (问人家导演), *zheyangdebutingyiluwenweishenme* (这样的不停一路问为什么), *gang* (刚), *qinshou* (亲手), *tongshi* (同时), *haoburongyi* (好不容易), *zhen* (真), *fengfenghuohuo* (风风火火), *zuowan* (昨晚), *chuntian* (春天), *jianzhugongsi* (建筑公司), *wo* (我), *ni* (你), *ta* (他), *yigeren* (一个人), *womenjiameimei* (我们家梅梅), *xianzaidetaihemen* (现在的太和门), *tadaomeiluopodeshihou* (他倒霉落魄的时候), *qukafeitingzhiqian* (去咖啡厅之前), *bangexiaoshiyiqian* (半个小时以前), *baimangzhizhong* (百忙之中), and *bijiaolesanminzhuyihégongchanzhuyizhihou* (比较了三民主义和共产主义之后)).

朱德熙（1978）の S4 “的” 構文について

神奈川大学非常勤講師 青木 萌

キーワード：“的” 構文 対象 省略

要 旨

本稿は主として朱德熙（1978）の S4（たとえば“是我开的门”[私が扉を開けたのだ]）にあてはまる“的”構文について論じる。要点は以下の三つである。第一に、聞き手にとって新情報となる出来事でも S4 “的”構文が使用された例が存在するということである。第二に、S4 “的”構文における“的”の後続成分が生起する原因は、発話者が、聞き手に対して明確に情報を伝えるためであり、反対に“的”の後続成分が生起しない所以は、発話者が既知の成分を再度表現する必要はないと判断したためである。第三としては、独立した平叙文として用いる S4 “的”構文は動詞の前に、前置詞句、動詞句、副詞、副詞句、形容詞、名詞、名詞句（“在外面，跟你爸爸一起，给你，为我，为了保卫我们国家，因为她，由希特勒的一本《我的奋斗》，拿这家餐厅，拿着这个蝓蝓儿笼子，以实习生的身份，通过猴子，靠这种方式，照着白小，按小时，从唐山，抱着大少爷的牌位，带他，问人家导演，这样的不停一路问为什么，刚，亲手，同时，好不容易，真，风风火火，昨晚，春天，建筑公司，我，你，他，一个人，我们家梅梅，现在的太和门，他倒霉落魄的时候，去咖啡厅之前，半个小时以前，百忙之中，比较了三民主义和共产主义之后”）などの生起を要するということ

ある。

0. はじめに

周知の如く，朱德熙（1978）は“（是）……的”構文を以下の五つに区分して考察を行った。（本稿の用例に対する日本語訳と下線はすべて筆者による）

S1 小王是昨天来的 [王さんは昨日来たのだ]

S2 昨天来的是小王 [昨日来たのは王さんだ]

S3 是我请小王来的 [私が王さんを招いたのだ]

S4 是我开的门 [私が扉を開けたのだ]

S5 他拿的是人家挑剩下的 [彼が持っているのは他の人が選び残したものだ]

本稿では主として S4 にあてはまる“的”構文について論じる¹⁾。第一章では，聞き手にとって新情報であっても，S4 “的”構文が使用された例があることを提示する。第二章では，“的”構文における“的”の後続成分について考察を行い，如何なる時に“的”の後続成分が生起し，如何なる時に“的”の後続成分が生起しないのかを多くの実例を挙げながら検討する。第三章においては，多くの実例を基に，独立した平叙文として用いられる S4 “的”構文について述べる。

1. S4 “的”構文は聞き手にとって新情報でも使用可能

木村（2012：241）は，“的”構文は「話し手と聞き手の双方が了解している既然の特定の出来事，すなわち一回的な既実現の事態に言及する」と

述べたが、S4 の“的” 構文だけに的を絞り、多くの実例を収集して検討してみると、聞き手にとって新情報となる出来事でもS4 の“的” 構文が使われた例が存在すると思われる。たとえば、次の（1）（2）の“的” 構文における出来事は、引用先のテレビドラマによると、いずれも聞き手にとって新情報である。

（1）柳林，祖籍杭州，在北京念的大学，后来去上海发展事业。（テレビドラマ『约会专家』第1話）

（2）姐，我跟你简单说一下别佳的情况吧。这个，他现在呀也不年轻了，但是模样还行，挺精神的。前年离的婚，也没孩子。他跟我说呀，他这辈子忘不了的人就是你。（テレビドラマ『全家福』第41話）

（1）では“在北京念的大学”[北京で大学を卒業したのだ]という“的”構文が生起している。引用先のテレビドラマ『约会专家』によると、（1）は“柳林”という人物を紹介する場面だが、聞き手は、“柳林”の生い立ちや大学を卒業したことなどを全く把握していない。

（2）における“的”構文は、二行目の“前年离的婚”[一昨年に離婚したのだ]だが、ドラマ『全家福』によると、聞き手（“姐”）は“别佳”が“离婚”したことを全く知らない。

次の（3）の“的”構文も同様の解釈ができる。

（3）2007年3月23号，早上七点钟左右，我在家吃的早饭，然后出门坐的59路公交汽车，路上大概堵了两个多小时我才到的公司，我真不知道他们去哪儿了，你们为什么不相信我呢！（テレビドラマ『蚂蚁族的奋斗』第21話）

[2007年3月23日、早朝七時ごろ、私は自宅で朝食をとり、家を出て59番のバスに乗り、約二時間余り渋滞し会社に着きました。彼らがどこへいったのか本当に知りません、どうして私を信じてくださらないのですか！]

この例は事情聴取の場面だが、ドラマ『蚁族的奋斗』の展開を見てみると、警察側は2007年の3月23日に発話者が行った行為を事前に把握していない。そのため、“我在家吃的早饭”、“出门坐的59路公交汽车”、“路上大概堵了两个多小时我才到的公司”における“我吃早饭”、“坐59路公交汽车”、“我到公司”という出来事はいずれも聞き手の警察側にとって新情報であると解しうる。

次に挙げる(4)の“托关系去的报社”[人脈に頼って新聞社へ就職したのだ]における“去报社”という出来事も聞き手にとって初めて耳にする情報であることをドラマ『婆婆来了』から看取しえる。

(4) 咱们班现在能定下来留京的有三个了。一个是托关系去的报社，还有两个那是拼死拼活终于留校当助教了。(テレビドラマ『婆婆来了』第2話)

ただ、ここでの“托关系去的报社”は発話者にとって把握しきったものであるからといって、“报社”を省略し、“一个是托关系去的”と発話すると、聞き手に対して正確に意味を伝えられない。そのため、ここでの“报社”は発話者にとって既知の情報であっても生起する必要があると考えられる。上述の(1)、(2)、(3)における“的”構文における“的”の後続成分も同様の解釈ができる。即ち、(1)の“在北京念的大学”における“大学”，(2)の“前年离的婚”における“婚”，(3)の“我在家吃的早饭”における“早饭”，“出门坐的59路公交汽车”における“59路公交汽车”，“我才到的公司”における“公司”を省略すると、いずれも聞き手に対して正確に意味を伝えることができない。そこで次章ではこの点について詳述する。つまり“的”の後続成分に着目してみたい。

合も，“的”の後方には動詞の対象が生起せず，S4 の“的”構文とは見なされない。

(19) 我还没问你呢，你跟她是怎么认识的？（テレビドラマ『大都市小爱情』第1話）

“你跟她是怎么认识的”[あなたと彼女は どうやって知り合ったの]では“跟她”が生起しているので，“你跟她是怎么认识的”の“的”には“认识”の対象が後続していないと解しうる。

しかし，たとえ自動詞であっても，場所を示す成分は“的”の後に生起することができ，S4 の“的”構文に属しえると判断できる。この後続成分は所謂，朱德熙 (1982: 56) が述べる「仮性目的語」（“准宾语”）である。(20) の“客厅”は正にその「仮性目的語」とであると見なしえる。

(20) 别生气了，我真睡的客厅！（テレビドラマ『老公的春天』第14話）

[怒らないで、僕は本当に客間で寝たんだ！]

最後に四つの例を挙げる。まず，以下の(21)を見られたい。留意されたいのは，一行目の“我是睡客厅的”[僕は客間で寝たのだ]では“的”が文末に生起し，五行目の“我真睡的客厅”[僕は本当に客間で寝たのだ]では“的”が動詞の後に生起していることである。

(21) A: 她昨天晚上就住这儿了，但是我，我是睡客厅的，我在沙发上睡了一宿，我向你发誓。

B: 我说怎么一早上打电话听见她的声音了。老公。最后是谁老公还不一定呢。

A: 这还有什么说的呢。别生气了，我真睡的客厅。（テレビドラマ『老公的春天』第14話）

なぜ一行目の“我是睡客厅的”[僕は客間で寝たのだ]では“的”が文末に生起し，五行目の“我真睡的客厅”[僕は本当に客間で寝たのだ]で

は“的”が動詞の後に生起したのだろうか。以下、妥当だと思える理由を述べよう。まず、一行目にある“我是睡客厅的”について考える。ここでは“睡客厅”の部分が〔断定〕の対象であると考え²⁾。一方、五行目の“我真睡的客厅”は“真睡”だけを〔断定〕していると理解することができる。このことを〔断定〕しようとする発話者の心境は切実であり、(21)の“我在沙发上睡了一宿，我向你发誓”[僕はソファで一晩寝たんだ、あなたに誓います]や“别生气了”[怒らないで]といった表現がその深刻さを物語っている。要するに、「客間」という情報は、前方の“我是睡客厅的”の文で既に相手に伝えたので、既知の情報である“客厅”を〔断定〕の対象から外したのである。そして、“我真睡的客厅”という文は、引用先のドラマを視聴すると、“真”の部分を強く発話しているので、発話者が客間で寝たということが「本当である」ということだけを集中的に〔断定〕していると見なしえる。

そこで一つ疑問が浮かぶ。それは、“我真睡的客厅”の“客厅”は既知の情報として省略しえるのか、ということである。確かに(21)の五行目の“我真睡的客厅”の中にある“客厅”は、上述の如く、前方の“我是睡客厅的”で既に生起しているので、既知の成分である。しかしながら、(21)の場面では、これを省略して“我真睡的”[僕は本当に寝たのだ]とすると、発話者の伝えたい内容と大きく異なってしまう。故に、ここでは、“我真睡的客厅”における“客厅”の生起が必須である。

次は(22)の例について考えてみよう。

(22) A: 喂?

B: 是谁给你权利进我家的? 还把我所有泡面都扔了!

A: 给你买的苹果你吃了没?

B: 你别给我打岔啊, 我是问你, 你怎么进的我家? 你偷窥狂啊
你! (テレビドラマ『我的经济适用男』第15話)

[A: もしもし。]

[B: 誰があんたに私の家へ入る権利を与えたのかしら。しかも私のカップ麺を全部捨てるなんて!]

[A: 君のために買ったリンゴは食べたかい。]

[B: 無駄口を叩くんじゃないの、あなたに聞いているの、どうやって私の家へ入ったのよ。あんたは覗き魔かしら!]

二行目の“是谁给你权利进我家的？”では“的”が文末に生起している。これに対し、四行目の“你怎么进的我家？”では“的”が動詞の後に生起している。なぜだろうか。というのは、発話者は、“是谁给你权利进我家的？”では“谁给你权利进我家”を〔断定〕の対象として捉えているのに対し、“你怎么进的我家？”では“怎么进”だけを〔断定〕の対象としている。換言すると、〔断定〕の対象をより限定させて、聞き手に、「如何にして侵入したのか」ということだけを集中的に質問したのである。この考えが妥当だと思える理由は主として二つある。

第一に、四行目の“你别给我打岔啊，我是问你”や“你偷窥狂啊你”，あるいはドラマの展開から察しえるように、発話者Bにとって、相手（発話者A）が自分の部屋へ入ることは望ましくない出来事であった。そこで発話者Bは“是谁给你权利进我家的？”と相手に問うが、答えが返ってこなかったのである。つまり、発話者Bは初めに“是谁给你权利进我家的？”という質問をしたのにも関わらず、相手はそれに答えず“给你买的苹果你吃了吗？”と言い、話題を逸らしてしまう。そのため、“你怎么进的我家？”では、“怎么进”だけに的を絞って質問し、相手に回答するように迫ったのである。

第二の理由としては、四行目の“你怎么进的我家？”の“我家”は前の“是谁给你权利进我家的？”で既に生起し初出ではないからである。

そこで“我家”が既知の情報であるにも関わらず、これが省略されな

かった所以について説明しておく必要がある。その所以は、“是谁给你权利进我家的？”と発話してから“你怎么进的我家？”を発話するまでの間には他の文がいくつか生起しているのて、“你怎么进的我家？”で“我家”を省略すると、発話者は聞き手に対して正確に自分の言いたいことを伝えられない恐れがある、と推察できるからである。従って、“你怎么进的我家？”の“我家”は既知の情報だが、あえて省略させなかった、と考えられる。

では、以下の二例ではなぜ“的”が文末に生起せず、直ぐにS4の“的”構文が使われたのであろうか。

(23) A: 饿了？ 是不是净顾着追我了中午都没吃上饭呀？

B: 不饿。

A: 我问你啊，你怎么到的我单位啊？（テレビドラマ『大丈夫』第3話）

(24) 怎么回事儿呀你！ 你看看你这成绩啊！ 英语四十三！ 语言五十八！ 数学三十二！ 你怎么上的学呀你！ 成天脑子都想什么呢！

（テレビドラマ『家有儿女第一部』第72話）

(23)の発話者Aは娘で、発話者Bはその娘の父親である。そのため、発話者Aの娘が話した“你怎么到的我单位啊”[あなたはどのようにして私の会社へ来たの]の“你”は父親を指していることが分かるが、この父親は長らく娘を監視していた。そして、発話者Aである娘は、(23)の会話が行われる前に、父親が“我单位”に来て自分のことを監視し続けていたことを知っている。これが原因で、娘は形容し難いほどの焦燥感を覚えていたのは言うまでもない。故に、このような状況においては、“我单位”を既知の情報として[断定]の対象から外し、“你怎么到”[あなたはどのようにして来た]についてのみ単刀直入に質問するのが妥当である。ただ、ドラマ『大丈夫』を見ると、ここでは“饿了？ 是不是净顾着追我了中午都没吃上

飯呀？”[お腹すいた。私を追っかけるのに夢中で、お昼ご飯を食べていないんでしょう。]といった食事に関する話題から、一転して、「父親がどうして会社に来たのか」について質問し、かつ、二人が会話をしている地点は“我单位”から既に遠く離れているため、“到”の対象が“我单位”であることをしっかりと明示しないと、意味を正確に伝えられない恐れがある。よって、“你怎么到的我单位啊”では既知の情報である“我单位”があえて省略されなかったと推論しうる。

さて、(24)の“你怎么上的学呀你”[あんたはどのようにして勉強したのよ]は、自宅において、母親が息子に向かって発したセリフである。(24)の例から看取できるように、発話者である母親は、息子が試験で低い点数を取ったため激怒している。そこで、母親にとって旧情報である“学”を[断定]の対象から外し、“你怎么上”のみを集中的に[断定]している、と考えられる。そのため、“学”を省略してもよさそうに思えるが、“上学”ということについては、(24)の場面で初めて口にするので、“学”を省くと、正確に意味を表現しえない可能性がある。従って、“的”の後の“学”を省略させなかった、と解しえる。

3. 独立した平叙文におけるS4“的”構文について

小野（2008：52-53）は、“的”構文の成立は、特殊な場合を除いては、何の前提も無く、いきなり発話することができず、質問に対する回答として用いられる、と述べた。そして、その後、小野（2008：55）は、“的”構文が独立した文として発話されうる前提条件は「特定のモノの存在が確認されていること」である、と主張した。

本章では、疑問詞が生起した“的”構文や疑問文の回答として用いられる“的”構文を除き、独立した平叙文のS4“的”構文の成立条件につい

てのみを集中的に論じることとする。そこで、当構文の動詞の前に生起する成分に注目する必要がある。この成分に注目することで、従来とは異なった視点から、S4 “的” 構文の成立条件を見出し、上で言及した小野氏の啓発的な見解に対しての補足を試みる。

そこで初めに朱德熙（1978：106-107）のS4 “的” 構文の例を見られたい。注目すべき箇所は、動詞の前に生起した成分である。（引用例の番号は原文に従っている）

- (1) 是瓦特发明的蒸汽机 [ワットが蒸気機関車を発明したのだ]
- (2) 是我出的作文题 [私が作文の問題を出したのだ]
- (3) 是小王打来的电话 [王さんが電話をかけてきたのだ]
- (4) 是他开的灯 [彼が灯りをつけたのだ]
- (5) 是李老师考的他 [李先生が彼にテストしたのだ]
- (6) 是学校借给他的旅费 [学校が彼に旅費を貸し与えたのだ]
- (7) 是你传染给我的感冒 [あなたが私に風邪をうつしたのだ]
- (8) 是昨天发的信 [昨日手紙を送ったのだ]
- (9) 是这儿买的票 [ここでチケットを買ったのだ]
- (10) 是用凉水洗的脸 [冷水で顔を洗ったのだ]

朱德熙（1978：107）によると、(1)-(7) の動詞の前にある成分は名詞（“瓦特”、“小王”、“李老师”、“学校”）や人称代名詞（“我”、“他”、“你”）、そして (8) (9) (10) は時間詞（“昨天”）、場所詞（“这儿”）、前置詞構造（“用凉水”）である。

张和友（2012：97-98）も上記のような“的” 構文における動詞の前の成分に注目しており、“小王是昨天看的戏” [王くんは昨日芝居を観たのだ] という文は“昨天”を削除すると非文になると指摘している。また、张和友（2012：124-125）における記述から、この類の“的” 構文の中には通常「時間、場所、手段、状況」などを示す成分が必ず生起する、とい

2. “的” の後続成分について

本章では、多くの実例を挙げながら、“的” 構文における“的” の後続成分について論じる。2.1 では、S4 “的” 構文における“的” の後続成分が省略される現象に注目する。2.2 では、“的” の後続成分が話題として用いられたため、それが再度“的” の後ろに生起しない“的” 構文について考える。2.3 においては、主に“的” の後続成分の生起が必須である S4 “的” 構文について考察を行う。これにより、S4 “的” 構文における“的” の後続成分が、如何なる時に生起し、また如何なる時に生起しないのかを明確にさせる。

2.1. “的” の後続成分が既知の情報であるために省略された例

まず以下の二つの例について検討する。

(5) A: 跟谁去看的电影?

B: 我跟朋友去看的的。(テレビドラマ『爱情最美丽』第1話)

(6) A: 你在哪家医院做的检查?

B: 就在这边这爱婴。

A: 我也在那儿做的的。我们都没见过哈! (テレビドラマ『咱们结婚吧』第17話)

(5) の“我跟朋友去看的”[俺は友達と見に行ったんだ]における“的”には動詞“看”の対象が後続していない。というのは、“我跟朋友去看的”の文の前には“跟谁去看的电影”[誰と映画を見に行ったの]という文があり、この文において既に動詞“看”の対象が“电影”だと分かっているからである。つまり、“我跟朋友去看的”では“电影”が既知の情報として省略され、“的”の後には“电影”が続かなかったと解しえる。

同様に、(6)の“我也在那儿做的”[私もあそこでしたの]は“的”が文末に置かれているが、その原因は、この文の前にある“你在哪家医院做的检查”[あなたはどこの病院で検査をしたの]において既に動詞“做”の対象が“检查”だと分かっているからである。よって、“我也在那儿做的”では、“的”の後方の“检查”が省略されたと見なしえる。

以下の例も上記と同様の解釈が可能である。

(7) 要说这梅亭的图纸还是你爸爸我这老岳父临走的头一年给我的。那水鸭子也是那一年给的。(テレビドラマ『全家福』第46話)

“那水鸭子也是那一年给的”[あのカモの彫刻品もあの年にくれたものなのだ]は、この文の前にある“你爸爸我这老岳父临走的头一年给我的”[俺たちのお父さんが亡くなる前の年に私にくれたのだ]の“的”の後方に動詞“给”の対象として“我”が既に生起しているため、“那水鸭子也是那一年给的”の“的”の後には“我”が生起しなかったと考えられる。

次はドラマで展開される場面を利用する例である。

(8) 是他打来的。(テレビドラマ『婆婆来了』第11話)

この文はドラマ『婆婆来了』を確認すると、(8)の文を発話する前は“是他打来的”とは関係のない話をしているので、“是他打来的”を考察するにあたって、前方の文脈を頼りにすることができない。しかし、ドラマによると、この文は、突然、発話者の携帯電話の着信音が数秒鳴り、かつ、発話者がその携帯電話の画面を見てから発話したもので、“电话”が省略されたと考えられる。

“的”の後続成分が既知であるが故、それが省略された例をもう一つ挙げよう。

(9) A: 哎哟, 大姐, 您这择什么呢?

B: 芦根。我在城外挖的。(テレビドラマ『全家福』第10話)

“芦根。我在城外挖的”[芦の地下茎です。私が城外で掘ったのです]に

において“芦根”が“的”に後続していないのは、“您这择什么呢”[あなたは何を選別しているのですか]という回答として先に“芦根”を発話したからである。つまり、“我在城外挖的”の文では“芦根”が既知の情報として省略されているのである。

さて、次節では“的”の後続成分が話題（topic）として使用されていることにより，“的”の後続成分が生起しない例について考えてみよう。これは朱德熙（1978）の S1 に属する“的”構文である。例文は（10）と（11）の二つがある。

2.2. “的”の後続成分が話題として用いられたため省略された例

- （10）这祸又不是他一个人闯的，你也有一半的责任啊！（テレビドラマ『爱情回来了』第 23 話）

問題となる箇所は“这祸又不是他一个人闯的”[その間違いは彼一人で仕出かしたものではない]である。ここでの“这祸”は話題である。故に“的”の後に動詞“闯”の対象である“祸”が生起していない。続けて（11）の例を考察しよう。

- （11）天安门知道吧，人民大会堂知道吧，都是他给修的！（テレビドラマ『全家福』第 19 話）

[天安門を知っているでしょう、人民大会堂を知っているでしょう、全部彼が修理したのよ！]

“都是他给修的”には動詞“修”の対象となる成分が生起していない。というのは、発話者はこの時、“天安门”と“人民大会堂”を話題として扱うことを望んだからである。

次の節では“的”の後続成分を必ず要する S4 “的”構文およびそれに関連する“的”構文を挙げて詳述する。

2.3. “的”の後続成分の生起が必須である例

(12) 咱们随意居的风水不行，您父亲，咱们老爷子也是在这儿出的事儿，
备不齐下面该轮到您了。(テレビドラマ『天下第一楼』第28話)

[我々随意居の風水は良くない、あなたのお父さんも、ここで災難
に遭ったのです。もしかすると今度はその厄があなたに回ってく
るかもしれません。]

(12) の“在这儿出的事儿”には動詞“出”の対象として“事儿”が生起しているが、この“事儿”を省いて“在这儿出的”と発話すると、聞き手にとって何が“出”したのかが分からない。そのため、ここでは“事儿”の生起が必須であると見なしえる。

次の(13)の“的”構文も“的”の後続成分の生起が必ず求められる。

(13) 紫不语曾经在一次采访里说过，她是在苏州出生，在大连上的中学，
在北京上的大学。(テレビドラマ『约会专家』第25話)

(13) の“在大连上的中学，在北京上的大学”[大連で中学高校を卒業し、北京で大学を卒業したのだ]は、もし“在大连上的”の後方に“中学”が、そして“在北京上的”の後ろに“大学”が生起しないと、聞き手は一体何を“上”したのかが判然としない。“小学”、“研究生”といったような対象をも想像できるからである。従って、この場面では“在大连上的”の後には“中学”を、一方、“在北京上的”の後方には“大学”を生起させる必要がある。

続けて(14)の例も検討されたい。

(14) 你们呀，就是太年轻，啥都不懂，你，你找个老人，你，你把老顾
叫来，你问问他就知道了。你们饭馆这房子当年都是我爷爷挑的地儿、定的灶。(テレビドラマ『全家福』第16話)

下線部の“挑的”と“定的”の後にはそれぞれ“地儿”と“灶”が生起しているが、もしこの場面において“地儿”と“灶”を省略すると、動詞

“挑”、“定” の対象が何であるのかが判然とせず、聞き手に“你们饭馆这房子当年都是我爷爷挑的地儿、定的灶”[あんたたちのお店は当時私の祖父が土地を選び、厨房を定めたのだ] といった意を伝えることは難しい。よって、(14) では“地儿”と“灶”の生起が欠かせない。

更に例を挙げよう。この例はやや長いが、最も留意されたい箇所は六行目と七行目に生起する“的”構文である。

(15) A: 你呀, 一会儿就准备一份礼物, 回头我再交给猴子。

B: 凭什么呀, 我凭什么给猴子送礼呀?

A: 不是, 我交给猴子, 猴子再交给穿山甲, 穿山甲交给鹦鹉, 鹦鹉交给熊猫, 熊猫交给狗熊, 狗熊交给灰狼, 灰狼交给黄狗。

B: 你就直接交给黄狗不就完了吗!

A: 那哪儿成啊。我是通过猴子认识的穿山甲, 通过穿山甲认识的鹦鹉, 通过鹦鹉认识的熊猫,

B: 行行行, 别叨了别叨了! (テレビドラマ『小房东』第30話)

“我是通过猴子认识的穿山甲, 通过穿山甲认识的鹦鹉, 通过鹦鹉认识的熊猫”[俺は猿さんを通じて穿山甲さんと知り合い、穿山甲さんを通じて鹦鹉さんと知り合い、鹦鹉さんを通じてパンダさんと知り合ったのだ] における“穿山甲”、“鹦鹉”、“熊猫”はいずれも“的”に後続する必要がある。というのは、これらを発話しないと、聞き手は“认识”の対象が誰であるのかが全く分からないからである。

次の例でも“的”の後続成分が求められる。文中の“豆包”は犬の名前である。

(16) 这豆包是我买的, 我挑的, 我花的钱! (テレビドラマ『我爱男闺蜜』第3話)

[この豆包は私が買ったのよ。私が選んで、お金を払ったのよ!]

“这豆包是我买的”における動詞“买”の対象は“豆包”であるが故、

“的”の後に“买”の対象物が生起することはない。そして、この文の後に続いて生起する“我挑的”における動詞“挑”の対象も“豆包”であるが、“豆包”は既知の情報として省略されていると見なしえる。しかし、その後の“我花的钱”における動詞“花”の対象は、“豆包”ではなく“钱”である。故に、“我花的钱”において“钱”を省略させるのは適切ではない。

もう一つ例を挙げておこう。

(17) 房子是谁的名字？ 什么时候买的？ 谁付的款？（テレビドラマ『咱们结婚吧』第26話）

[家は誰の名義で、いつ購入したのですか。誰が支払いをしたのですか。]

“什么时候买的”における動詞“买”の対象は、この文の前方の“房子是谁的名字”における“房子”であると理解しえる。要するに、“什么时候买的”では、“房子”を既知の情報であるが故省略したのである。そして、その後に続く“谁付的款”は“房子”の話しをしている最中に発話された文なので、動詞“付”の対象は“款”であると推測できる。が、“房子”と“付款”は必然的な関係を有すわけではないので、やはり、ここでは“付”の対象が“款”であることをはっきりと表現すべきである。

なお、自明の如く、自動詞が生起して“的”の後続成分が出現しない“的”構文は朱德熙（1978）におけるS4の“的”構文ではない。たとえば、

(18) 我知道，记得！ 去年秋天死的！ 怪可怜的！（小説『老舍文集（第一巻）』447頁）

[知っています、覚えています。昨年の秋に亡くなったのです。本当にかわいそう。]

これに加えて、動詞の対象が前置詞の目的語として既に生起している場

うことが看取しえる。

また、石毓智（2010：466）は、“是”の後には、通常、単純な動詞に“的”を加えて名詞を修飾することはできず、動詞の前にはその他の修飾語を加える必要があり、さもないと、その文は意味を有さなかったり、非文となる、と述べた。以下は石毓智（2010：466）からの引用である。（引用例の番号は原文に従っている）

(19) 他是去年结婚的。[彼は去年結婚をしたのだ。] →[?]他是结婚的。

我是昨天买的票。[私は昨日チケットを買ったのだ。] →[?]我是买的票。

他是用凉水洗的脸。[彼は冷水で顔を洗ったのだ。] →[?]他是洗的脸。

阿里是昨天打的电话。[阿里は昨日電話をしたのだ。] →[?]阿里是打的电话。

以上の他の研究者による記述によって、S4“的”構文の動詞に前置する成分は当構文の成立を考える上でとても重要だといえる。そこで、考察の便宜を図り、S4“的”構文の動詞の前に生起する成分を「断定基準成分」と仮称したい。

上記の朱德熙（1978：106-107）の例における「断定基準成分」は名詞、人称代名詞、時間詞、場所詞、そして、前置詞“用”によって構成される前置詞句“用凉水”であった。そこで、次節では、まず、前置詞は“用”以外にたとえば“在”、“跟”、“给”、“为”、“为了”、“因为”、“由”、“拿”、“拿着”、“以”、“通过”、“靠”、“照着”、“按”、“从”などが生起した前置詞句が「断定基準成分」となるS4“的”構文が存在することを例示したい。その後、動詞句が「断定基準成分」となる例、副詞あるいは副詞句が「断定基準成分」となる例、形容詞が「断定基準成分」となる例、さらには、名詞あるいは名詞句が「断定基準成分」となる例を順番に挙げる³⁾。

当然の如く、S4 に該当する“的”構文において、動詞の前には様々な成分（本稿で言う「断定基準成分」）が生起することは、従来の研究から看取することができるが、テレビドラマや小説などの実例を大量（以下の3.1 から 3.5 の中で合計四十例）に用いて、S4 “的”構文の中には実に様々な「断定基準成分」が用いられることを示した論考は管見の及ぶ限り存在しない。

さて、以下、前置詞句が「断定基準成分」となる例から見ていこう。まず前置詞“在”によって構成された前置詞句“在外面”が「断定基準成分」を担うS4 “的”構文を見られたい。（用例における下線の部分が「断定基準成分」である）

3.1. 前置詞句が「断定基準成分」となる例

(25) 什么都逃不出豆子的火眼金睛，明总监今天没换衣服，昨儿晚上肯定在外面过的夜！（テレビドラマ『爱情回来了』第9話）

この用例における「断定基準成分」は“昨儿晚上肯定在外面过的夜”[昨夜はきっと外で一夜を過ごしたのだ]の中の“在外面”であると理解できる。

(26) A: 我是跟你爸爸一起来的北京。

B: 您有事儿吗？

A: 你不想知道他现在怎么样吗？

B: 不想。再说我可以直接问他。（テレビドラマ『时尚女编辑』第17話）

ここでの「断定基準成分」は“我是跟你爸爸一起来的北京”[私はあなたのお父さんと一緒に北京へ来たのだ]の“跟你爸爸一起”であると考えられる。

(27) A: 不带这样儿的，妈！ 这多大岁数了，头发都白了，我一直以为

是您看上了呢。

B: 胡说, 我是给你相的女婿! (テレビドラマ『时尚女编辑』第16話)

この例では“我是给你相的女婿”[私はあなたのために娘婿を見定めようとしたのだ]の“给你”が「断定基準成分」である。

(28) 老石可是为我负的伤, 你帮着给看看? (テレビドラマ『全家福』第3話)

[石さんは私のせいで怪我をしたのです。見てもらえますか。]

この用例では“为我”が「断定基準成分」である。

(29) 新生同志是为了保卫我们国家才付出的这么大的牺牲。(テレビドラマ『全家福』第13話)

[新生同志は我々の国を守るが故にこのような多大なる犠牲を払ったのだ。]

この文は“为了保卫我们国家”が「断定基準成分」であると考えられる。

(30) 你原来就, 就因为她离的婚啊! (テレビドラマ『约会专家』第17話)

[おまえは彼女が原因で離婚したのか!]

この例の「断定基準成分」は“因为她”である。

(31) 几年来的战争, 都是由希特勒的一本《我的奋斗》闯的祸, 这一本书害了多少人? (小説『自由人生』3頁)

[数年来の戦争はいずれもヒトラーの『我が闘争』が起こしたのである。この書はどれ程の人を害したのであろうか。]

上記の例では“是由希特勒的一本《我的奋斗》闯的祸”の“由希特勒的一本《我的奋斗》”が「断定基準成分」を担うと判断すべきである。

(32) 姑娘, 我说你要怪讶, 怪你爸金庆喜, 他拿这家餐厅做的抵押。我们也不容易呀。(テレビドラマ『把爱带回家』第6話)

ここでは“他拿这家餐厅做的抵押”〔彼はこのレストランを以って抵当したのだ〕における“拿这家餐厅”が「断定基準成分」を務めると判断すべきである。

- (33) 最后这工匠是拿着这个蝸蝸儿笼子建的这个角楼！（テレビドラマ『全家福』第13話）

〔最後にその職人さんはそのキリギリスの籠を以ってその隅櫓を建てたのだ。〕

この文の「断定基準成分」は“拿着这个蝸蝸儿笼子”である。

- (34) 淼淼，你是以实习生的身份进的杂志社，未经别人允许修改别人的稿件本身就是越权。（テレビドラマ『大丈夫』第22話）

〔淼淼、あなたは実習生として雑誌会社に入社したのだから、他の人の許可なしで他人の原稿を修正するのは全くもって失礼なことよ。〕

この文における「断定基準成分」は“以实习生的身份”である。

- (35) 我是通过猴子认识的穿山甲，通过穿山甲认识的鸚鵡，通过鸚鵡认识的熊猫，〔……〕（テレビドラマ『小房东』第30話）

〔俺は猿さんを通じて穿山甲さんと知り合い、穿山甲さんを通じて鸚鵡さんと知り合い、鸚鵡さんを通じてパンダさんと知り合ったのだ、（……）〕

この例における「断定基準成分」は“我是通过猴子认识的穿山甲”の“通过猴子”と，“通过穿山甲认识的鸚鵡”の“通过穿山甲”と，“通过鸚鵡认识的熊猫”の“通过鸚鵡”である。

- (36) 那个孙啸腾为什么会有今天，他的发家史我全都弄明白了，他就是靠这种方式上的位！（テレビドラマ『把爱带回家』第43話）

この例における「断定基準成分」は“他就是靠这种方式上的位”〔彼はまさにこのような方法に頼って出世したのだ〕の中の“靠这种方式”であ

る。

(37) A: 你说的这是白小还是阿 Q 啊?

B: 你没发现白小性格跟阿 Q 有点儿像吗?

A: 这倒也是。我估摸鲁迅先生就是照着白小才写出来的阿 Q!

(テレビドラマ『小房东』第 70 話)

ここでの「断定基準成分」は“我估摸鲁迅先生就是照着白小才写出来的阿 Q”[鲁迅先生は白小を照らしながら《阿 Q 正传》を書き上げたのであろう]における“照着白小”である。

(38) “老师，我这孩子是按小时交的钱，我希望他能在这段时间内多学些东西。我们的时间也很宝贵，还要学钢琴、绘画。”(小説『橡皮人』228 頁)

この文の「断定基準成分」は“我这孩子是按小时交的钱”[私の子は一時間単位でお金を支払ったのだ]における“按小时”である。

(39) 你是唐山的吧，咱俩是老乡啊，我也是唐山的，对，七六年，大地震嘛，是吧，我从唐山到的北京！(テレビドラマ『大丈夫』第 10 話)

ここでは“我从唐山到的北京”[僕は唐山から北京へ来たのです]における“从唐山”が「断定基準成分」であると見なしえる。

次節では、動詞句が S4 “的” 構文の「断定基準成分」を担う例を四つ挙げる。

3.2. 動詞句が「断定基準成分」となる例

(40) 干爹，您有所不知，我大嫂的事儿啊，在全高密大家都知道。她和单家大少爷刚定完亲，大少爷就死了。可我嫂子呢，她还是选择从一而终，她是抱着大少爷的牌位进的单家，进了家门就守寡，一直守到现在。我想她抽大烟也是因为心里苦闷。(テレビドラマ『红高

梁』第7話)

この用例では“她是抱着大少爷的牌位进的单家”[彼女は兄さんの位牌を抱えて単家に嫁いだのです]の文における“抱着大少爷的牌位”が「断定基準成分」である。

(41) A: 坏了坏了, 那我赶紧去买!

B: 别忙了, 我带他吃的炸酱面。(テレビドラマ『大丈夫』第25話)

この例文では引用先のドラマ『大丈夫』によると, “我带他吃的炸酱面”[俺は彼を連れて炸酱麵を食べたんだ]の“带他”が「断定基準成分」であると考えられる。

(42) 不行, 不行, 我是问人家导演要的票, 你必须去。要是咱们仨都不去的话, 太不给人导演面子了。(テレビドラマ『一仆二主』第4話)

ここでは“我是问人家导演要的票”[私はあの監督に尋ねてチケットをもらったのだ]の“问人家导演”が「断定基準成分」であると考えられる。

(43) A: 实在不好意思, 我先生他总是要问为什么, 搞科学就是要不停地问为什么。

B: 为什么?

C: 你跟着起什么哄啊!

A: 不好意思, 是因为求知欲强加上刨根问底儿, 我先生啊, 他就是这样的不停一路问为什么修成的博士。(テレビドラマ『家有儿女第三部』第21話)

この用例においては“他就是这样的不停一路问为什么修成的博士”[彼は正にこのようにして止まることなく「どうして」と質問し続けて博士の学位を修めたのだ]の“这样的不停一路问为什么”が「断定基準成分」である。

次は副詞あるいは副詞句が「断定基準成分」となる例を六つ挙げる。

3.3. 副詞および副詞句が「断定基準成分」となる例

(44) A: 我们那么久没见, 先啖一下!

B: 不要, 我刚化的妆, 口红该花了。(テレビドラマ『爱情回来了』第31話)

ここでは“我刚化的妆”[私はさっき化粧をしたのだ]の“刚”が「断定基準成分」である。“刚”が「断定基準成分」となる例をもう一つ挙げておこう。

(45) A: 给你来碗面。刚做的卤。

B: 好啊。(テレビドラマ『嘿，老头！』第1話)

ここでの“刚做的卤”[先ほど麺の具を作ったのだ]は“刚”が「断定基準成分」である。

(46) A: 这都是你下厨做的菜?

B: 对呀。

A: 这个也是?

B: 是啊。亲手下的厨。(テレビドラマ『闪亮茗天』第12話)

この例における“亲手下的厨”[自分で料理をしたのだ]の「断定基準成分」は“亲手”である。

(47) 我跟你说啊, 我这掐着点儿呢, 咱俩是同时开的火, 现在是同时盖的盖儿, 您听我电话吧, 得了, 好嘞, 好嘞! (テレビドラマ『大丈夫』第47話)

この例は、離れた所にいる二人が、電話を用いて同時に料理をしている場面である。“咱俩是同时开的火”[私たちは同時に火をつけたのだ]と“现在是同时盖的盖儿”[いま同時に蓋をしたのだ]の「断定基準成分」はいずれも“同时”である。

(48) 我告诉你，我好不容易才通过的笔试，我说什么都不要被淘汰！

(テレビドラマ『闪亮茗天』第4話)

ここでの「断定基準成分」は“我好不容易才通过的笔试”[私はやっとのことで筆記試験を通過したのだ]の“好不容易”である。

(49) A: 她昨晚上就住这儿了，但是我，我是睡客厅的，我在沙发上睡了一宿，我向你发誓。

B: 我说怎么一早上打电话听见她的声音了。老公。最后是谁老公还不一定呢。

A: 这还有什么说的呢。别生气了，我真睡的客厅。(テレビドラマ『老公的春天』第14話)

この会話における“我真睡的客厅”[私は本当に客間で寝たのだ]は“真”が「断定基準成分」である。

次の3.4の“的”構文は形容詞が「断定基準成分」を担っているものである。

3.4. 形容詞が「断定基準成分」となる例

(50) A: 大哥，我总算是看出来了。我就是因为没有答应跟她好，她就怀恨在心，她公报私仇，她，她这是要置我于死地呀！

B: 不对呀，是她让我过来接你的呀。

A: 啊？

B: 真的。她风风火火找的我，让我赶紧把你接出来，说她把这事儿给压下了，以后再也不能提了。(テレビドラマ『全家福』第19話)

この会話における“她风风火火找的我”[彼女は慌ただしく私を訪ねたのだ]は文脈上“风风火火”が「断定基準成分」であると考えられる。

さて、以下の3.5では名詞および名詞句が「断定基準成分」となる例を

挙げる。全部で十四の例がある。

3.5. 名詞および名詞句が「断定基準成分」となる例

- (51) 你是昨晚挂的彩，只剩下一只胳膊，怎么好去打仗？（小説『李自成（第1巻）』138頁）

この例文における「断定基準成分」は“你是昨晚挂的彩”[あなたは昨晚怪我を負ったのだ]における“昨晚”である。

- (52) 前些日子，他们俩一人怀着一个小包。春天结的婚，他的薄大衣在秋天也还合适。（小説『老舍全集（第8巻）』168頁）

ここでは“春天结的婚”[春に結婚をしたのだ]における“春天”が「断定基準成分」であると見なしうる。

- (53) A: 喂？ 你说。

B: 婷婷，你跟电视台那个寇旅关系还好吗？

A: 一直挺好的啊。

B: 那你能不能马上给她打个电话。叠峰阁出了负面新闻，别让她发。

A: 我做记者的时候最讨厌的就是有人来灭我的新闻。

B: 这跟你那个不一样，是建筑公司出的事，我被牵连了。（テレビドラマ『婚姻时差』第1話）

ここでの「断定基準成分」は“是建筑公司出的事”[建設会社がトラブルを起こしたのだ]の中の“建筑公司”である。

- (54) A: 来了！ 给你介绍一下，孟总。孟来财。

B: 就是他啊？ 红红啊，真不行，真不行！ 你知道吗，刚才在餐厅，为了一顿饭钱跟一女孩儿吵得不亦乐乎的！

C: 孟总！

B: 后来是我结的帐！（テレビドラマ『一仆二主』第38話）

この用例における“后来是我结的帐”[その後私が勘定を支払ったのだ]は“我”が「断定基準成分」である。

(55) 我们家马桶怎么堵了啊，上午可是你搞的卫生！（テレビドラマ『家有儿女第一部』第74話）

ここでの「断定基準成分」は“上午可是你搞的卫生”[午前中はおまえが掃除をしたのだ]における“你”である。

(56) 小店换了个年轻的女店主，一边照看着孩子，一边招呼他们。她买了面包可乐，以琛也拿了一罐啤酒，他付的钱。（小説『何以笙箫默』34頁）

この例文における「断定基準成分」は“他付的钱”[彼がお金を払ったのだ]における“他”である。

(57) 我看清楚啦，他就一个人进的饭馆。（テレビドラマ『小房东』第63話）

この例では“他就一个人进的饭馆”[彼は一人でレストランに入ったのだ]の“一个人”が「断定基準成分」であると見なすことができる。

(58) 前年在医院是我们家梅梅护理的胖婶。（テレビドラマ『家有儿女第二部』第49話）

ここでは“前年在医院是我们家梅梅护理的胖婶”[一昨年に病院で私の家の梅梅が太っちょ叔母さんを看護したのだ]における“我们家梅梅”が「断定基準成分」であると判断しえる。

(59) 据《清实录》记载，六岁的顺治皇帝是在皇极门，也就是现在的太和门登的极。（ドキュメンタリー『故宫』第2話）

この例文の「断定基準成分」は“是现在的太和门登的极”[現在の太和門で即位したのだ]における“现在的太和门”である。

(60) 我说大妹子，甭管老周应了你什么，那都是他倒霉落魄的时候应的你。万一他得意的时候，再把你……（テレビドラマ『全家福』第

24 話)

“那都是他倒霉落魄的时候应的你”[それは彼が悲運で失望している時にあなた（結婚）を受け入れたのだ]の「断定基準成分」は“他倒霉落魄的时候”である。

- (61) 这电脑怎么这么烂啊，我去咖啡厅之前开的机，怎么到现在都没启动。(テレビドラマ『约会专家』第2話)

この用例における“我去咖啡厅之前开的机”[俺は喫茶店に行く前にパソコンを起動したのだ]の“去咖啡厅之前”は「断定基準成分」であると見なしえる。

- (62) A: 我要吃饭! 你们总不能把我们娘俩饿死吧?

B: 别装了，半个小时以前才吃的早饭，你一点儿都不会饿的。(テレビドラマ『爱情回来了』第24話)

ここでは“半个小时以前才吃的早饭”[三十分ほど前に朝ご飯を食べたのだ]の“半个小时以前”が「断定基準成分」であると理解しえる。

- (63) A: 走吧，吃点好的去。

B: 我不行，我得回去弄弄稿子。

A: 百忙之中离的婚，赶紧的，我也没请你呀! (テレビドラマ『时尚女编辑』第16話)

ここでの“百忙之中离的婚”[多忙の中で離婚したのだ]は“百忙之中”が「断定基準成分」である。

- (64) 念人，你为什么就不能研究一下三民主义呢？我就是比较了三民主义和共产主义之后才做出的选择。(テレビドラマ『范府大院』第31話)

この用例の“我就是比较了三民主义和共产主义之后才做出的选择”[僕は三民主義と共產主義を比較してから選択をしたのだ]は“比较了三民主义和共产主义之后”が「断定基準成分」である。

以上、多くの事例による考察から、独立した平叙文として生起する S4 “的” 構文の動詞の前には、前置詞句、動詞句、副詞、副詞句、形容詞、名詞、名詞句といったような「断定基準成分」が必ず生起していることが分かった。

4. 結びにかえて

最後に本稿の要点を確認しておこう。それは以下の三つである。

第一に、S4 の“的” 構文は、聞き手にとって新情報となる出来事でも使用可能な例が存在するということである。

第二に、S4 “的” 構文における“的” の後続成分が生起する原因は、発話者が、聞き手に対して明確に情報を伝えるためであり、反対に“的” の後続成分が生起しない所以は、発話者が既知の成分を再度表現する必要はないと判断したためである、ということをも多くの事例を基に論じた。

第三としては、S4 “的” 構文を独立した平叙文として用いるためには、動詞の前に前置詞句、動詞句、副詞、副詞句、形容詞、名詞、名詞句として（“在外面，跟你爸爸一起，给你，为我，为了保卫我们国家，因为她，由希特勒的一本《我的奋斗》，拿这家餐厅，拿着这个蝈蝈儿笼子，以实习生的身份，通过猴子，靠这种方式，照着白小，按小时，从唐山，抱着大少爷的牌位，带他，问人家导演，这样的不停一路问为什么，刚，亲手，同时，好不容易，真，风风火火，昨晚，春天，建筑公司，我，你，他，一个人，我们家梅梅，现在的太和门，他倒霉落魄的时候，去咖啡厅之前，半个小时以前，百忙之中，比较了三民主义和共产主义之后”）といったような成分が生起する，ということをも多くの事例を用いて証明した。そして本稿ではこのような成分を「断定基準成分」と仮称した。

注釈

- 1) 朱德熙（1978）では，“是”が生起していないS4の“的”構文をS4'としているが、本稿では考察の便宜を図り、S4“的”構文とS4'“的”構文を一律にS4“的”構文と記して論じることとする。また、本稿は査読の際に（1）、（2）、（3）、（4）、（5）、（6）、（9）、（12）、（13）、（15）などの例文における“的”構文は、S4“的”構文ではなくS1“的”構文と見なすべきところのご指摘があったが、今回は朱德熙（1978）における見解に基づき、上記の例文はいずれもS4“的”構文と見なして論考を進めることとする。
- 2) つまり“是……的”の間に生起した成分を「断定」の対象であると考え、これについては稿を改めて詳述する。
- 3) “他是说的上海话”といったような例は、一見「断定基準成分」が生起していないS4“的”構文のように思えるが、朱德熙（1978：109）によると、この“的”構文はS4に属さない。そこで、本稿では、この朱德熙（1978：109）の見解に賛同して論考を進めることにする。

参考文献

- 小野秀樹 2008.『統辞論における中国語名詞句の意味と機能』。東京：白帝社：31-72 頁。
- 木村英樹 2012.『中国語文法の意味とかたち』。東京：白帝社：239-264 頁。
- 石毓智 2010.『汉语语法』。北京：商务印书馆：466 頁。
- 张和友 2012.『“是”字结构的句法语义研究』。北京：北京大学出版社。
- 朱德熙 1978.「“的”字结构和判断句」,『中国语文』1978 年第 1 期：23-27 頁, 第 2 期：104-109 頁。
- 朱德熙 1982.『语法讲义』。北京：商务印书馆。

用例出典

[小説]

- 胡适 2009.『自由人生』。西安：陕西师范大学出版社。
- 顾漫 2011.『何以笙箫默』。沈阳：沈阳出版社。
- 老舍 1980.『老舍文集』。北京：人民文学出版社。
- 老舍 2008.『老舍全集』（修订本）。北京：人民文学出版社。
- 王朔 2004.『橡皮人』（王朔文集第 2 版）。昆明：云南人民出版社。
- 姚雪垠 2005.『李自成』。北京：人民文学出版社。

[テレビドラマ、ドキュメンタリー]

- 陈启峻 2014.『把爱带回家』(TV版)。北京博方文化传媒有限公司。
- 澄丰、朱锐斌 2013.『约会专家』。上海剧芯文化创意有限公司。
- 成浩 2006.『范府大院』(全41話版)。中视影视制作有限公司。
- 戴冰 2010.『蚁族的奋斗』。银润传媒。
- 付宁 2012.『全家福』。浙江华策影视股份有限公司等。
- 蒋家骏 2012.『我的经济适用男』。天视卫星传媒股份有限公司。
- 蒋家骏 2014.『爱情回来了』。上海辛迪加影视有限公司。
- 李牧鸽 2013.『婚姻时差』(北京卫视版)。中国电影股份有限公司、北京华录百纳影视股份有限公司。
- 梁山 2010.『婆婆来了』。SMG影视剧中心、上海东霏。
- 林丛 2004.『家有儿女第一部』。北京中视美星国际文化传媒有限公司。
- 林丛 2005.『家有儿女第二部』。北京箐蕊文化传播有限公司。
- 林丛 2007.『家有儿女第三部』。天地人传媒有限公司。
- 刘江 2013.『咱们结婚吧』。完美蓬瑞影视文化有限公司、北京华录百纳影视股份有限公司。
- 刘进 2014.『一仆二主』。上海尚世影业有限公司。
- 孙家正(总顾问) 2005.『故宫』。中国国际电视总公司。
- 滕华涛 2012.『时尚女编辑』。北京华录百纳影视有限公司。
- 汪俊 2013.『我爱男闺蜜』。御嘉影视集团有限公司、东阳新境界影视传媒有限公司、上海野鬃文化传播有限公司。
- 王小康 2013.『老公的春天』。国龙联盟投资股份有限公司。
- 武洪武、王飞、栗心博 2014.『大都市小爱情』。上海青竺影视文化有限公司。
- 夏钢 2003.『天下第一楼』。北京紫禁城影业有限责任公司、北京全聚德烤鸭股份有限公司、中央电视台影视部。
- 许瑞生 2006.『小房东』。北京佳桐世纪影视文化传播公司。
- 杨亚洲 2014.『嘿，老头！』。北京华录百纳影视股份有限公司。
- 姚晓峰 2014.『大丈夫』。新丽传媒股份有限公司、尚世影业、安徽广电。
- 于中中、陈畅 2014.『闪亮茗天』。上海剧酷文化传播有限公司。
- 张国立 2014.『爱情最美丽』。北京国立常升影视文化传播有限公司。
- 郑晓龙 2014.『红高粱』。山东卫视、青岛凤凰影视传媒股份有限公司、花儿影视。

Social Struggle in Catalonia: The Background and the Process of “La Canadiense” Strike (1919)

NIITSU Yoshitaro

Keywords: Spain, Barcelona, anarcho-syndicalism, general strike

Abstract

This article examines the social struggle in Catalonia that intensified in the aftermath of World War I, and complements Spanish history in the interwar period. In particular, it explores the background and the process of a strike that began at Barcelona’s most important electricity supplier, “La Canadiense,” and considers its historical significance.

After World War I, revolutionary movements escalated in various parts of Europe, and Spain, too, was no exception. Especially in Catalonia, labor movements gathered momentum and the anarcho-syndicalist labor union, Confederación Nacional del Trabajo (CNT), expanded its influence significantly. At the beginning of February 1919, the CNT instigated “La Canadiense” strike. Anarcho-syndicalist militants almost completely paralyzed the city, stopping utilities, mobilizing many workers, and deploying a firmly organized strike. Finally, the dispute ended with a remarkable victory for the workers.

“La Canadiense” strike was the last straw for Catalan industrialists. They were frightened by the strength of trade unions, equating it with “Bolshevism.” At the same time, Catalan employers concluded that the governing classes were unable to contain the revolutionary wave and maintain social order. For this reason, they formed an alliance with the Army and aimed the dissolution of the CNT. With this strike as a turning point, the social struggle in Catalonia became serious and undermined the Spanish liberal system. It had a huge impact on Primo de Rivera’s military coup (1923) that involved the demise of the Spanish liberal regime.